

建築工事特記仕様書

1. 工 事 名 称 旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事
2. 建 築 場 所 三重県伊賀市平野山之下 地内
3. 用 途 地 域 都市計画区域内 第2種住居地域 法22条地域
4. 敷 地 面 積 5,343.9㎡
5. 構 造, 規 模 訓練棟 鉄筋コンクリート 5階建て P H 1階
 建築面積=49.0㎡ 延床面積=253.19㎡
 自家給油所 鉄骨造平屋建て 建築面積・延床面積=26.6㎡
 補助棟 鉄骨造2階建て
 建築面積=27.0㎡ 延床面積=50.0㎡

1. 一般共通事項

- ①適用範囲 1)図面、特記仕様書及び現場説明書に記載されてある事項以外は「国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築物解体工事共通仕様書」平成31年度版に準ずる。但し本工事に関係ない事項は適用しない。
 2)特記事項は○印の付いたものを適用する。
 ○印の無い場合は※印の付いたものを適用する。
 ○印※印のある場合は共に適用する。
- ②設計図書順位 1)質問回答書（下記2）から5）に対するもの）
 2)現場説明書
 3)特記仕様書
 4)図面
 5)解体共通仕様書
- ③疑義に対する協議等 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は解体方法等の関係で設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員と協議する。
- ④別契約の関連工事 別契約の施工上密接に関連する工事については、監督職員の調整に協力し、当該工事関係者とともに、工事全体の円滑な施工に務める。
- ⑤提出書類 1)工程表、施工計画書、工事日報、部分下請負通知書など伊賀市特記仕様書による。
- ⑥工事関係図書 1)実施工程表 工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承認を受ける。
 2)工事の着手に先立ち、施工管理体制、事故防止及び環境保全に十分配慮した解体工法、建設副産物の処理等について施工の具体的な計画を定めた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
 3)工事の記録 監督職員が支持した事項及び監督職員と協議した結果について記録を整備する。
 次の(7)から(ε)までのいずれかに該当する場合は、施工管理
 (7) 設計図書に定められた施工の確認を行った場合
 (i)事前調査及び解体順序の各段階における工程の途中及び一工程が完了した場合
 (ii)建設副産物を処理する場合
 (ε)適切な施工であることの照明を監督職員から支持された場合
- ⑦官公署その他手続 工事の着手、施工及び完成に当たり、関係法令等に基づく官公省その他の関係機関への必要な届出手続等を直ちに行う。
- ⑧発生材の処理 発生材のうち、発注者に引渡しを要するものは、特記がなければ、金属類及び塩化ビフェニル（PCB）含有物とする。再資源化を図るものは分別を行い、所定の再資源化施設等に搬入する。建設リサイクル法等関係法令に基き適切に処理する。

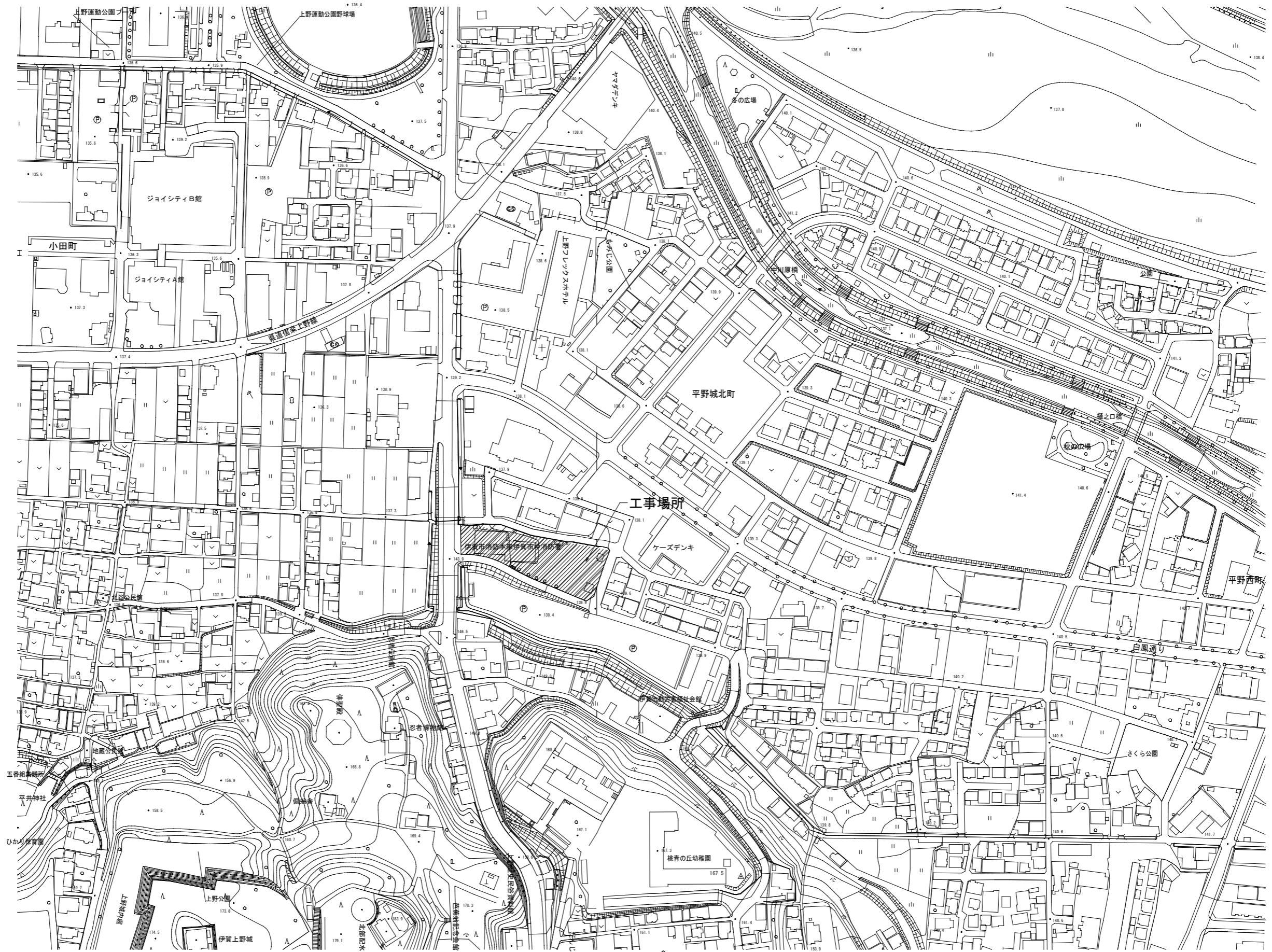
2.仮設工事

1. 建築物等を解体するために必要な仮設工事について記載する。
2. 仮設に使用する材料は、適切な性能を有するものとし、新品にかぎらない。
3. 騒音粉じん等の対策は、防音シートを隙間なく取り付ける。
 防音シートは重ねと結束を十分に施す。
 ブレーカー、破砕機等による粉じん発生部に常時散水を行う。
4. 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき足場の組立、解体を行う。
5. 工事現場の適切な場所に、工事名称、発注者等を示す表示板を設ける。
6. 監督職員事務所等の設置は、監督職員と協議する。

3.解体工事

1. 建築物等の解体に先立ち、次の事前処置を行う。
 各種設備機器の停止並びに給水、ガス、電力及び通信の供給が停止している事を確認する。
 落下するおそれのある付属物は事前に撤去する。
 特別管理産業廃棄物等がある場合は、処理方法に準ずる。
2. 解体は、事前処置を行った後、建設リサイクル法に基づき取壊しを行う。
 解体方法は、手作業及び機械による作業とする。
3. 躯体は種類ごとに分別解体とする。
 (7)コンクリート (i)鉄筋 (ii)鉄骨 (ε)木材 (φ)その他構造物
4. 基礎等は、騒音、振動に配慮し分別解体する。
5. 杭の処理は適正に行う。
6. 解体後は埋戻し、アスファルト舗装復旧とする。

特記	工事名称	旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	建築工事特記仕様書					R1. 8. 13	A- 1
	縮尺						訂正年月日	種別

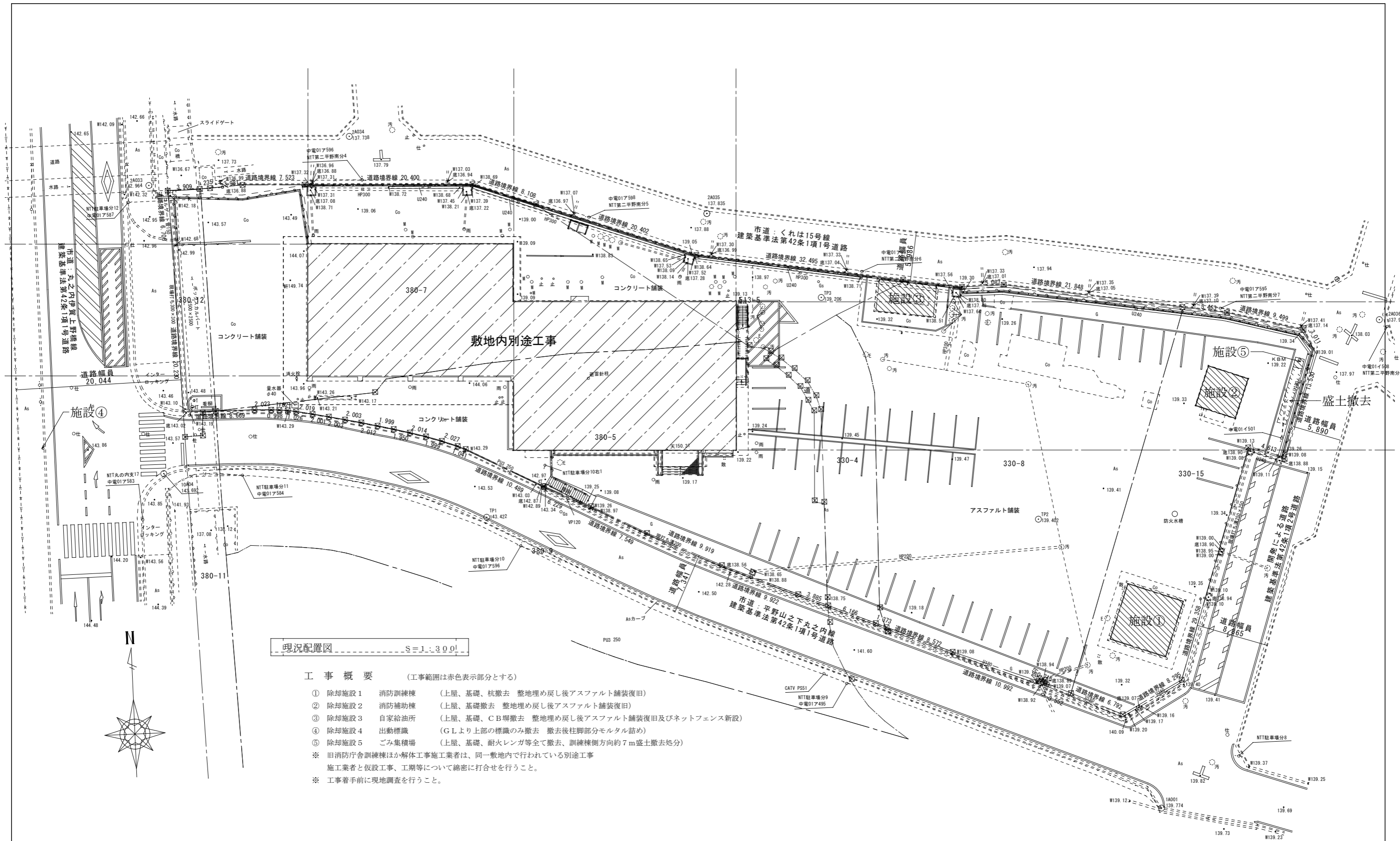


特記

工事名称	旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事
図面名称	付近見取図
縮尺	S=1:2,500 (A2サイズ)

承認	検図	設計	製図

作図年月日	図面番号
R1. 8. 13	A-2
訂正年月日	種別



現況配置図 S=1:300

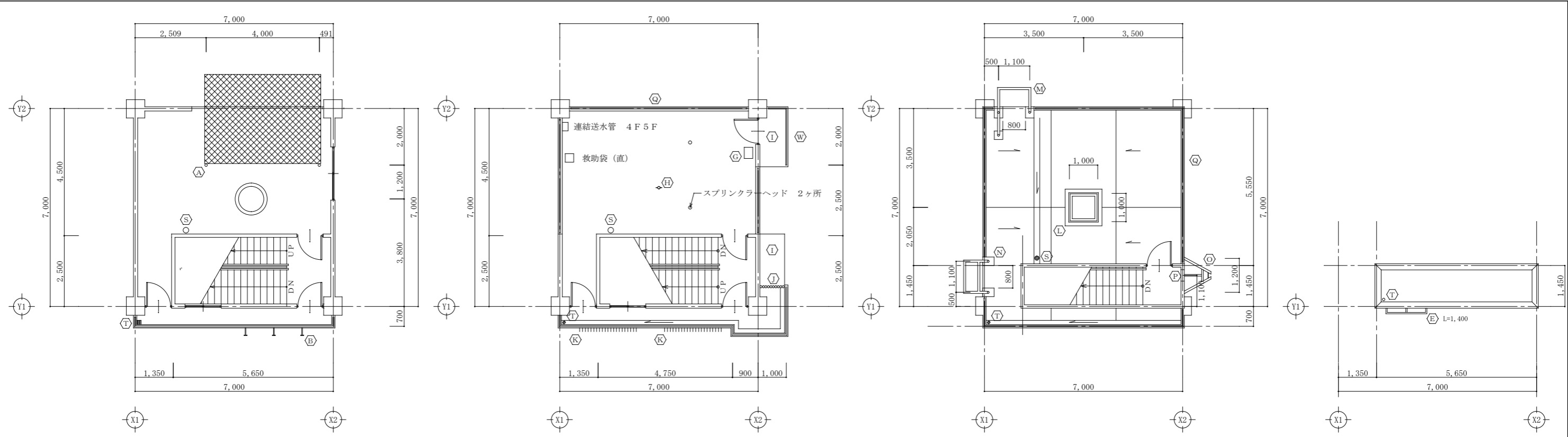
- 工事概要** (工事範囲は赤色表示部分とする)
- ① 除却施設1 消防訓練棟 (上屋、基礎、杭撤去 整地埋め戻し後アスファルト舗装復旧)
 - ② 除却施設2 消防補助棟 (上屋、基礎撤去 整地埋め戻し後アスファルト舗装復旧)
 - ③ 除却施設3 自家給油所 (上屋、基礎、C/B撤去 整地埋め戻し後アスファルト舗装復旧及びネットフェンス新設)
 - ④ 除却施設4 出動標識 (GLより上部の標識のみ撤去 撤去後柱脚部分モルタル詰め)
 - ⑤ 除却施設5 ごみ集積場 (上屋、基礎、耐火レンガ等全て撤去、訓練棟側方向約7m盛土撤去処分)
- ※ 旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事施工業者は、同一敷地内で行われている別途工事施工業者と仮設工事、工期等について綿密に打合せを行うこと。
 ※ 工事着手前に現地調査を行うこと。

特記	工事名称	旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	現況配置図					R1. 8.13	A-3
	縮尺	S=1:300 (A2サイズ)					訂正年月日	種別

工 事 概 要						
工事名称	旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事	都市計画区域	都市計画区域内	敷地面積	5,343.9㎡	工事範囲
工事場所	三重県伊賀市平野山之下 地内	用途地域	第2種住居地域	建築面積	棟別概要による	① 訓練棟 解体工事（基礎・杭共撤去） 撤去後アスファルト舗装復旧
建築主氏名	伊賀市長 岡本 栄	防火地域	指定なし 22条地域	延床面積	棟別概要による	② 補助棟 解体工事（基礎共撤去） 撤去後アスファルト舗装復旧
建築主住所	三重県伊賀市四十九町3184番地	道路	現況配置図による	構造	棟別概要による	③ 自家給油所 解体工事（基礎共撤去） 撤去後アスファルト舗装・ネットフェンス復旧
建物用途	事務所等	建ぺい率	60%	階数	棟別概要による	④ その他撤去工事
工事種別	解体工事	容積率	200%	基礎形状	棟別概要による	※ 照明器具等は全て撤去処分する。

棟 別 概 要						
① 訓練棟 解体工事		② 補助棟 解体工事		③ 自家給油所 解体工事		④ その他撤去工事
建築面積	49.0㎡	建築面積	27.0㎡	建築面積	26.6㎡	④-1 敷地西側道路に設置されている『出勤標識』の撤去処分
延床面積	253.19㎡	延床面積	50.0㎡	延床面積	26.6㎡	標識柱は切断処理、切断面の安全対策を行う。基礎は現況のまま放置とする。
構造	鉄筋コンクリート造	構造	鉄骨造	構造	鉄骨造	建物に通じる通信配線は撤去処分
階数	5階建て PH1階	階数	2階建て	階数	平屋建て	④-2 補助棟東側に設置されている『ごみ集積場』の撤去処分
基礎形状	杭基礎	基礎形状	独立基礎	基礎形状	独立基礎	ごみ集積場付近の盛土の撤去処分
外部仕上		外部仕上		外部仕上		
外壁	コンクリート打放し	外壁	コンクリート打放し	外壁	なし（柱表し）	
屋根	均しモルタルt=20~30 + アスファルト防水層（8層） + 押えモルタルt=50~70	屋根	均しモルタルt=20~30 + アスファルト防水層（8層） + 押えモルタルt=50~70	屋根	スレート葺き	撤去備品リスト ※ 撤去備品については、現地調査を行い監督員に確認すること。
						・ 看板（100×80cm）2個
						・ 看板固定器具（鉄製で直径10cm 高さ1.5m程度の円柱+ステー）
						・ マネキン人形 5体
内部仕上		内部仕上		内部仕上		・ 長椅子 1脚
1階 床	コンクリートコテ押え + ビニルシート厚0.1	1階 床	土間コンクリート 金コテ押え	床	土間コンクリート 金コテ押え	・ 廃材（200×100cm）2個他
2~5階 床	防水モルタルコテ押え t=30	2階 床	CL-4.5	壁	なし（柱表し）	・ 演台（120×50×100cm）2個
1~5階 壁	コンクリート打放し	1階 壁	角波鉄板張り、一部縞鋼板張り	天井	なし（梁・屋根表し）	・ 長机 20台
1~5階 天井	コンクリート打放し	2階 壁	縞鋼板張り	その他	CB塀 撤去後 ネットフェンスH=1,300新設	・ バイク椅子 100脚
		1階 天井	なし（梁表し）			・ 事務椅子 15脚
		2階 天井	なし（梁・屋根表し）			・ 消火水槽鉄枠（200×80cm）8個
						・ タイヤ 4個
付属物・備品	消防訓練用金物等	付属物・備品	消防訓練用金物等			・ その他

特 記	工事名称	旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	工事概要・棟別概要					R1. 8. 13	A- 4
	縮 尺						訂正年月日	種別

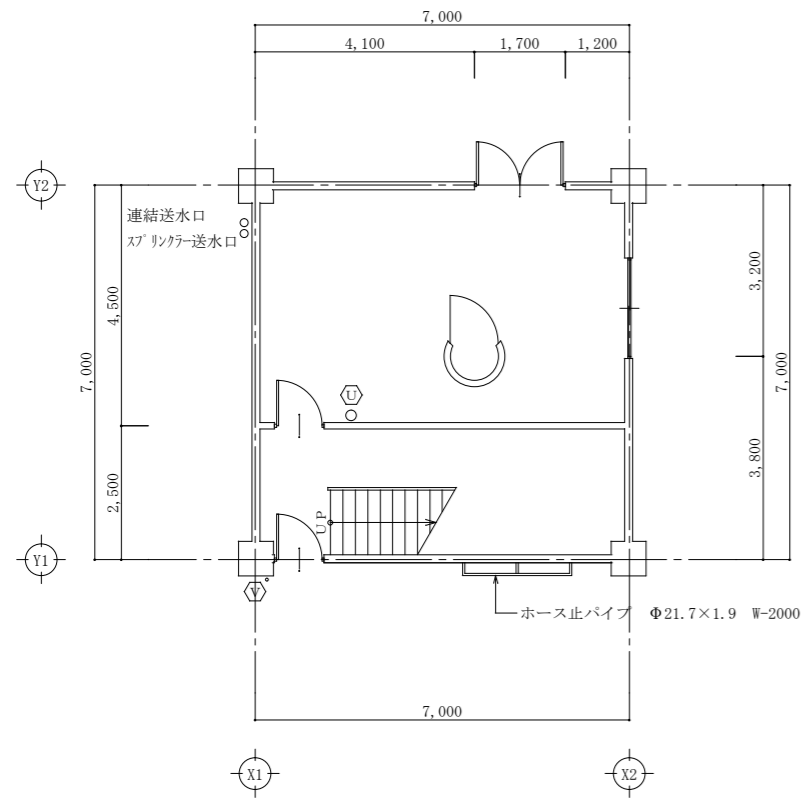


2階平面図 S=1:100

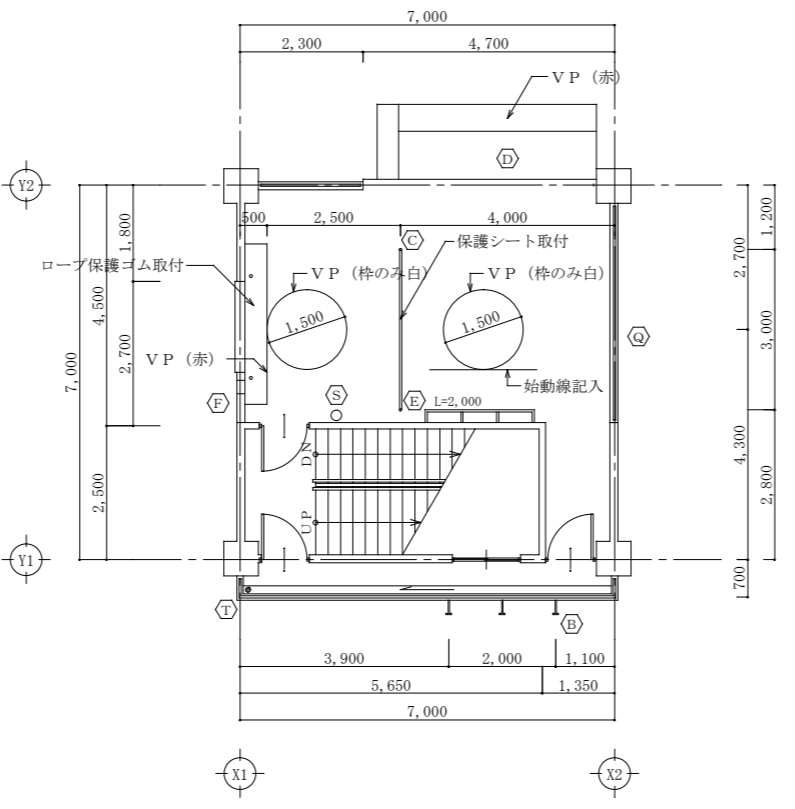
4階平面図 S=1:100

PH階平面図 S=1:100

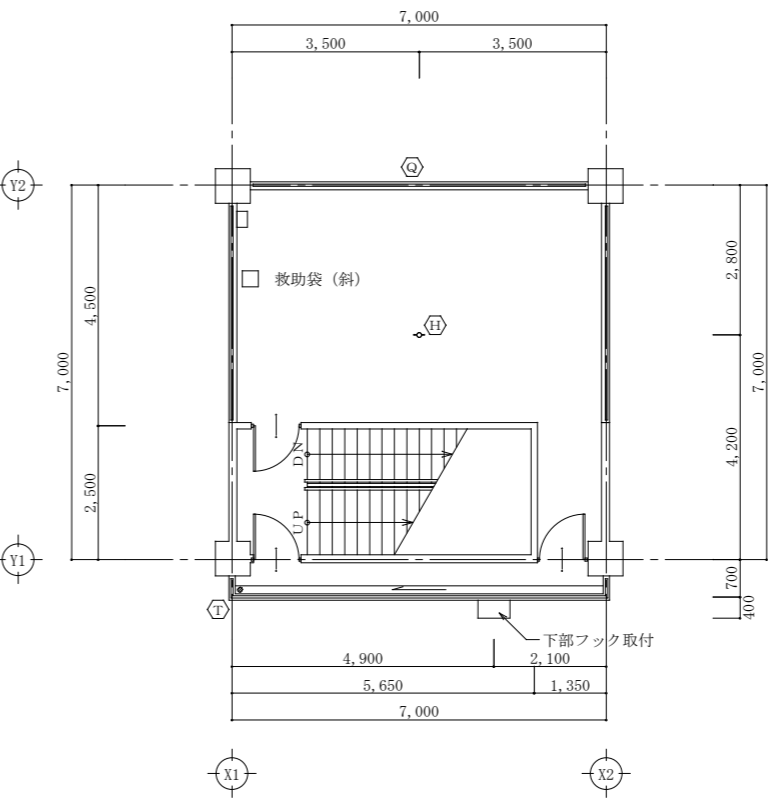
PHR階平面図 S=1:100



1階平面図 S=1:100



3階平面図 S=1:100



5階平面図 S=1:100

記号	名称
A	落下防止ネット用パイプ P-101.6×3.2 2本
B	ホース固定環 P-21.7×1.9
C	防護網用パイプ P-42.7×2.4
D	足場板 3,800×1,500
E	ロープ固定用パイプ P-42.7×2.4 L=2,000及び4,000
F	ノゾキ窓 150×250
G	スローダウン
H	ロープ固定用パイプ P-101.6×3.2
I	リベリング降下口
J	鎖(市販品)
K	ホース乾燥台
L	ロープ保留点 H=1,100(手摺共)
M	確保ロープ 繫留点 フック1か所
N	確保ロープ 繫留点 フック2か所
O	滑車取付台
P	ロープ取付穴 400×400
Q	手摺 P-42.7×2.4
R	タラップ (アルミ既製品)
S	ルーフトレイン 200Φ(タテ型)
T	ルーフトレイン 100Φ(タテ型)
U	タテ樋 200Φ 硬質塩化ビニル管
V	タテ樋 100Φ 硬質塩化ビニル管
W	手摺 P-34.0×2.2 H=1,100
	階数表示板 150×200 6か所

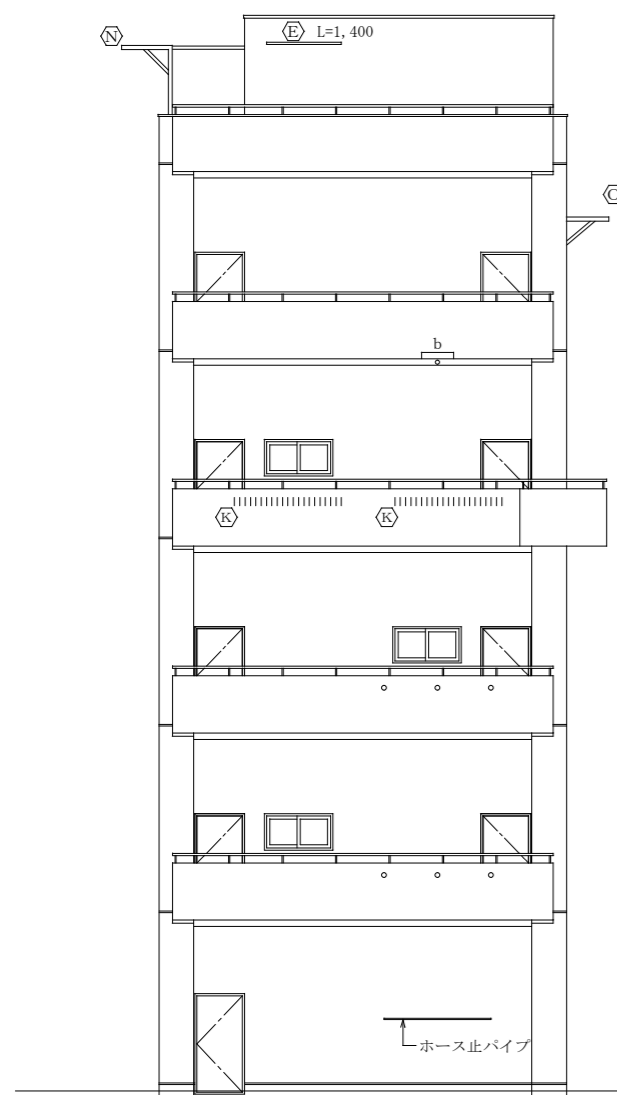
特記 ※ 図面に記入している物は、特記なき限り全て撤去処分とする。

工事名称 旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事

図面名称 訓練棟 平面図

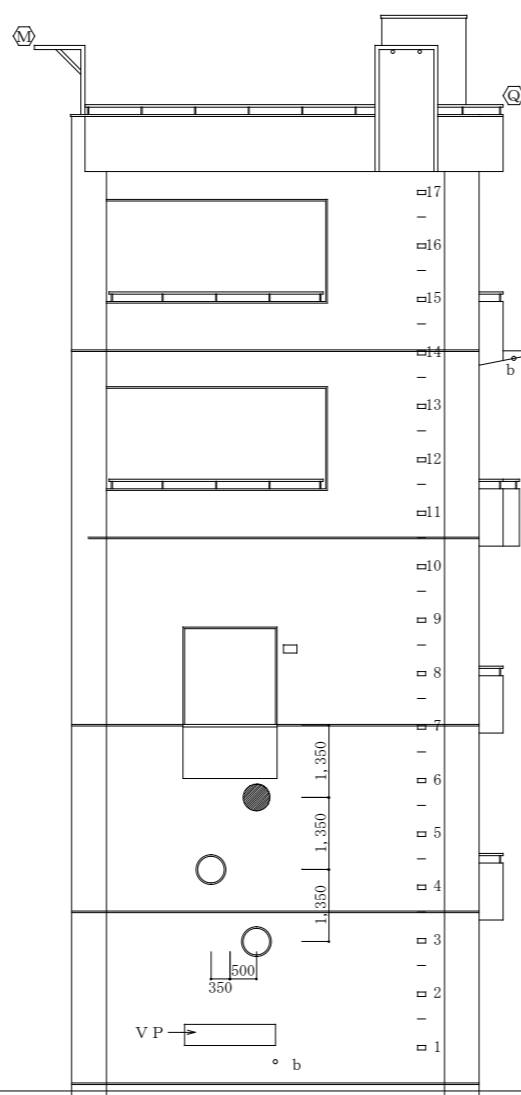
縮尺 S=1:100 (A2サイズ)

承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
				R1. 8.13	A-5
				訂正年月日	種別



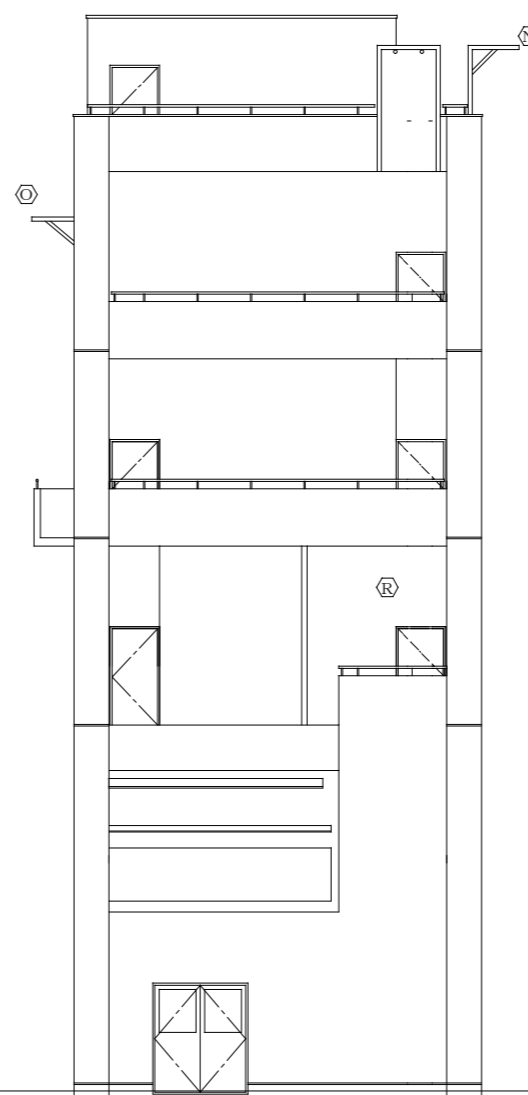
南立面図

S=1:100



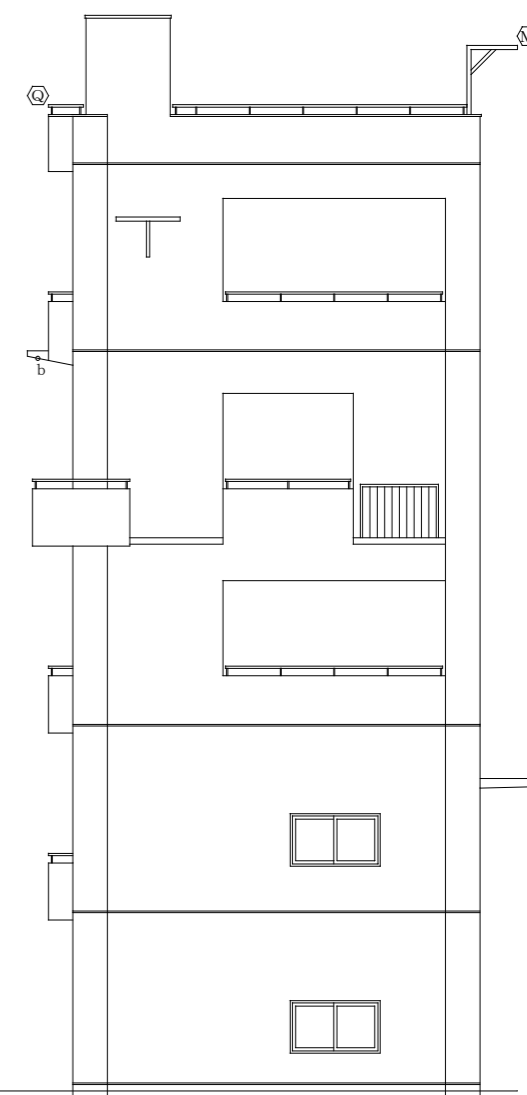
西立面図

S=1:100



北立面図

S=1:100



東立面図

S=1:100

記号	名 称	記号	名 称	記号	名 称	記号	名 称	記号	名 称	記号	建 具 表
Ⓐ	落下防止ネット用パイプ P-101.6×3.2 2本	Ⓔ	スローダウン	Ⓜ	確保ロープ 繫留点 フック1か所	Ⓢ	ルーフドレイン 200Φ (タテ型)	Ⓨ	小庇	1	両開フラッシュ戸 1,700×2,000 網入ガラス t=6.8
Ⓑ	ホース固定環 P-21.7×1.9	Ⓕ	ロープ 固定用パイプ P-101.6×3.2	Ⓝ	確保ロープ 繫留点 フック2か所	Ⓣ	ルーフドレイン 100Φ (タテ型)	Ⓩ	防水モルタル塗コテ押え	2	片開フラッシュ戸 600×1,200
Ⓒ	防護網用パイプ P-42.7×2.4	Ⓖ	リベリング降下口	Ⓗ	滑車取付台	Ⓤ	タテ樋 200Φ 硬質塩化ビニル管		内系900Φ コンクリート製	3	片開フラッシュ戸 850×1,800
Ⓓ	足場板 3,800×1,500	Ⓙ	鎖 (市販品)	Ⓟ	ロープ取付穴 400×400	Ⓥ	タテ樋 100Φ 硬質塩化ビニル管		フック SUS27.2×2.2 (丸角)	4	引違窓 1,600× 900 網入ガラス t=6.8
Ⓔ	ロープ 固定用パイプ P-42.7×2.4 L=2,000及び4,000	Ⓚ	ホース乾燥台	Ⓖ	手摺 P-42.7×2.4	Ⓦ	手摺 P-34.0×2.2 H=1,100			5	引違窓 1,200× 600 網入ガラス t=6.8
Ⓕ	ノゾキ窓 150×250	Ⓛ	ロープ 保留点 H=1,100 (手摺共)	Ⓡ	タラップ (アルミ既製品)	Ⓧ	コンクリート打放し				建具は全てスチール製、握玉・シリンダー錠・丁番付き

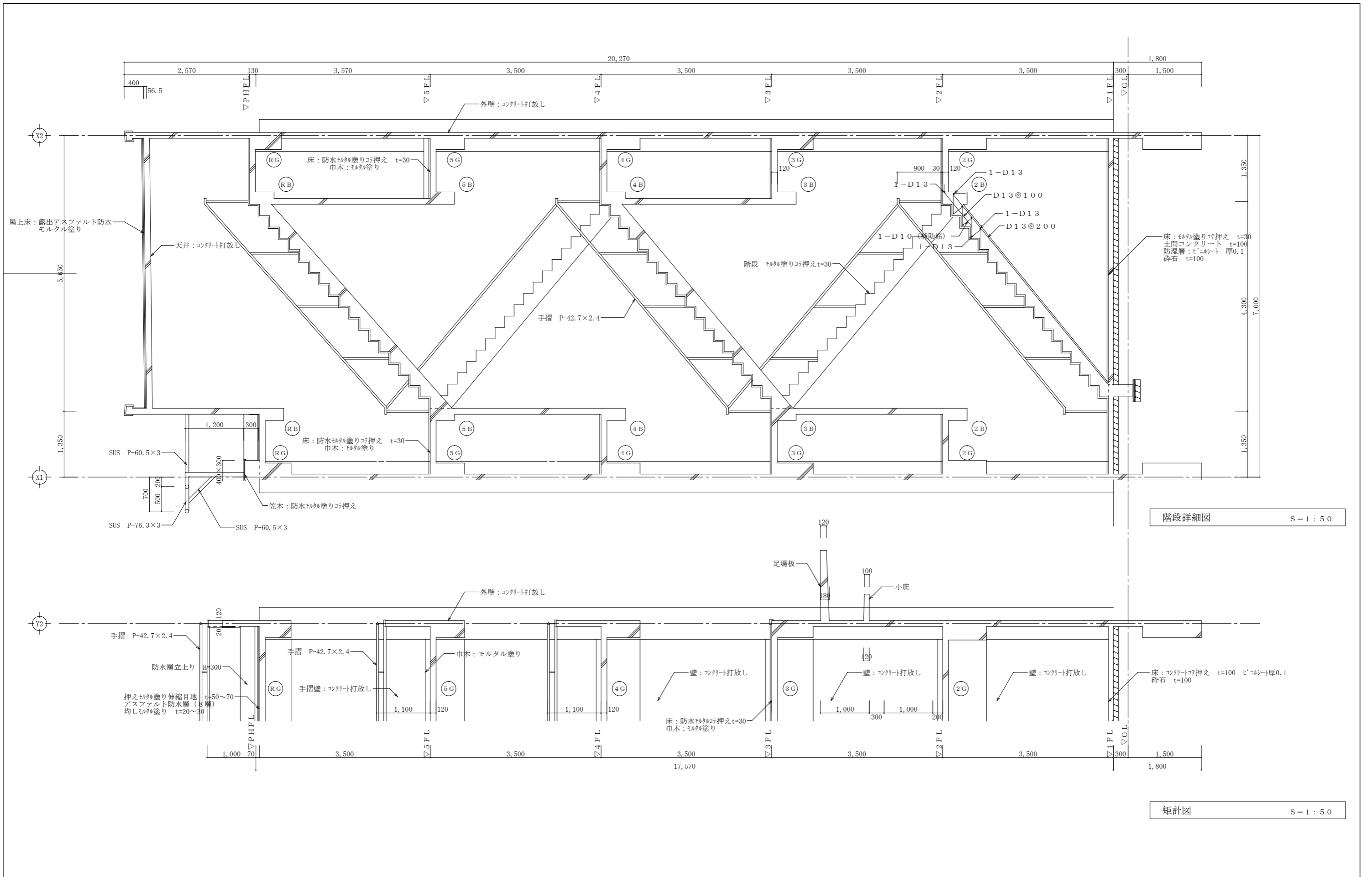
特 記 ※ 図面に記入している物は、特記なき限り全て撤去処分とする。

工事名称 旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事

図面名称 訓練棟 立面図

縮 尺 S=1:100 (A2サイズ)

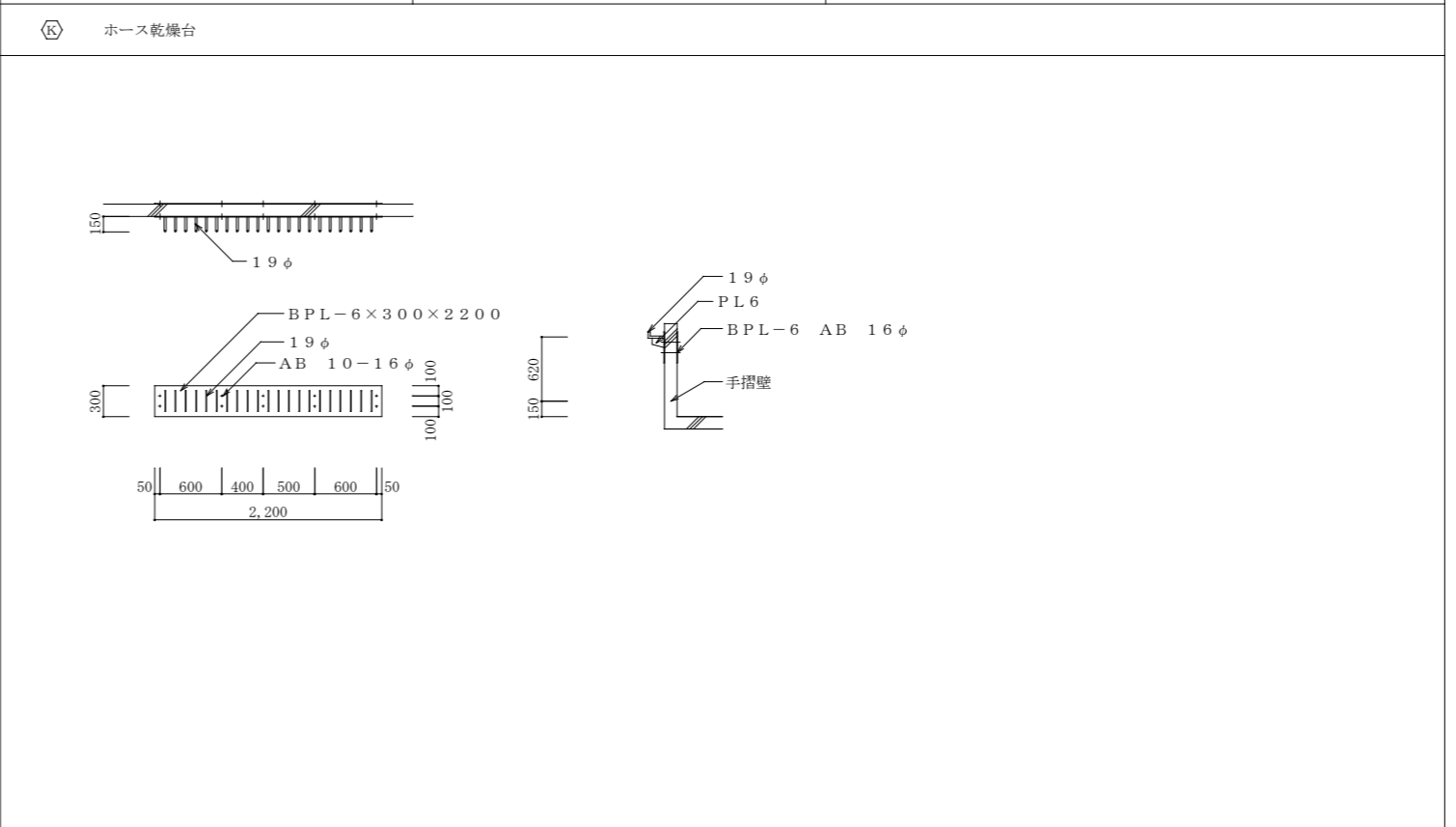
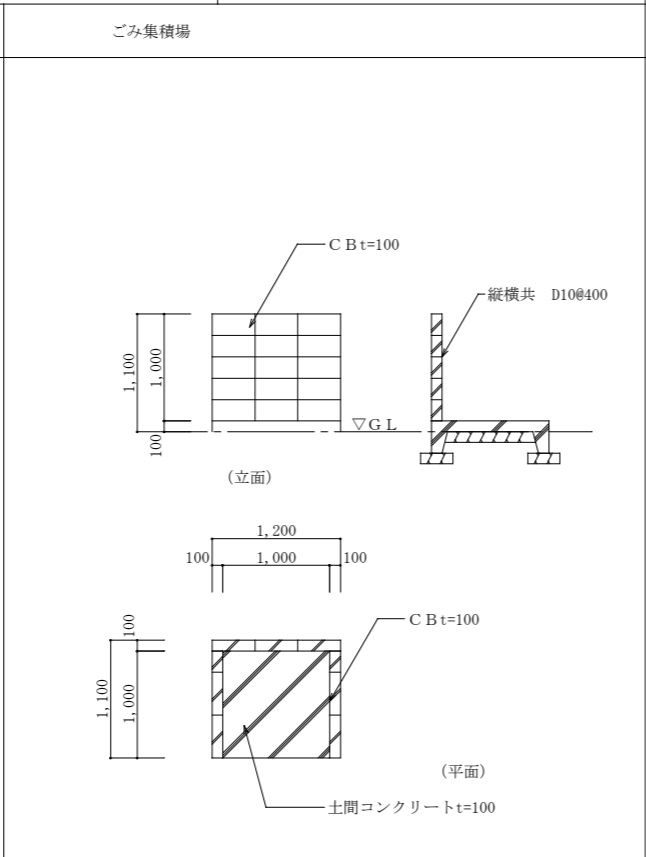
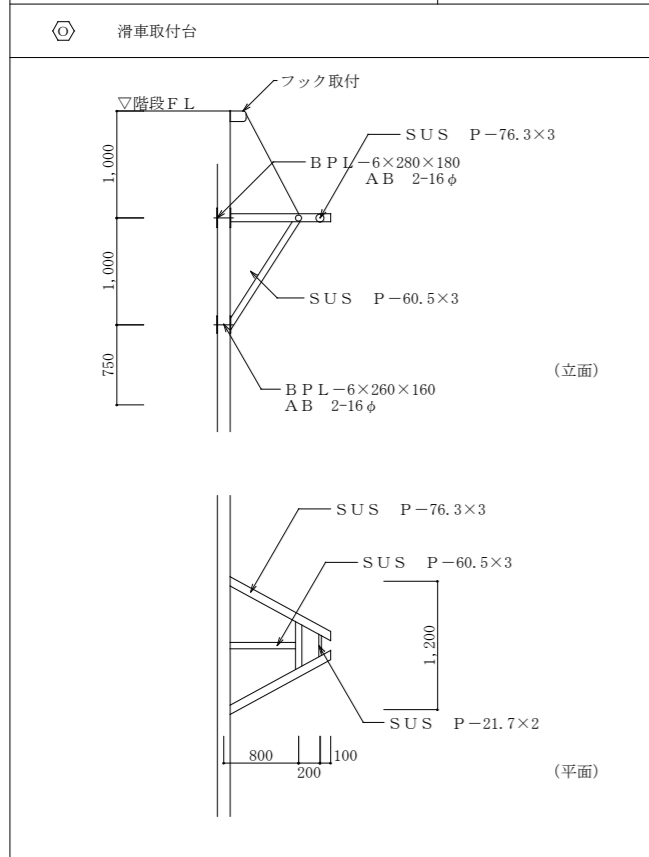
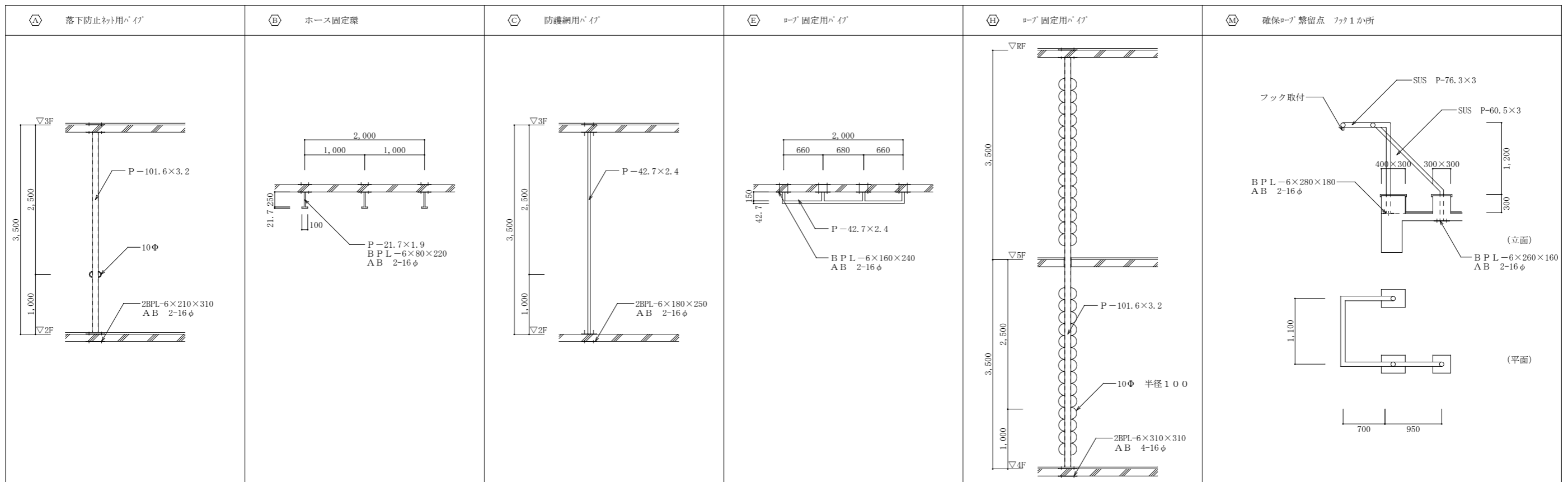
承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
				R1. 8. 13	A- 6
				訂正年月日	種別



階段詳細図 S = 1 : 50

矩計図 S = 1 : 50

特記 ※ 図面に記入している物は、特記なき限り全て撤去処分とする。	工事名称 旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事	承認 検図 設計 製図	作図年月日 R1. 8. 13	図面番号 A-7
	図面名称 訓練棟 矩計図			
	縮尺 S = 1 : 50 (A2サイズ)	訂正年月日 種別		



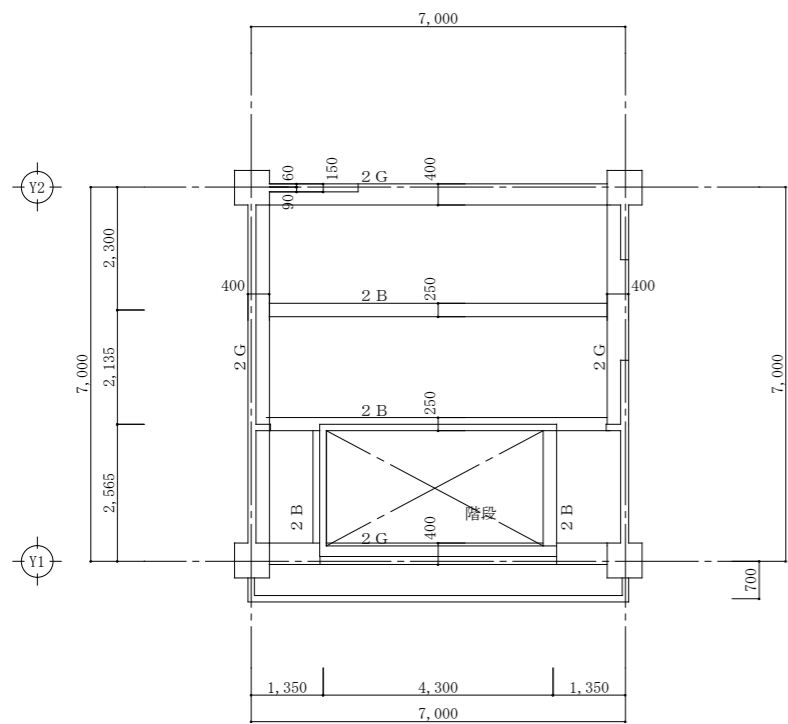
特記 ※ 図面に記入している物は、特記なき限り全て撤去処分とする。

工事名称 旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事

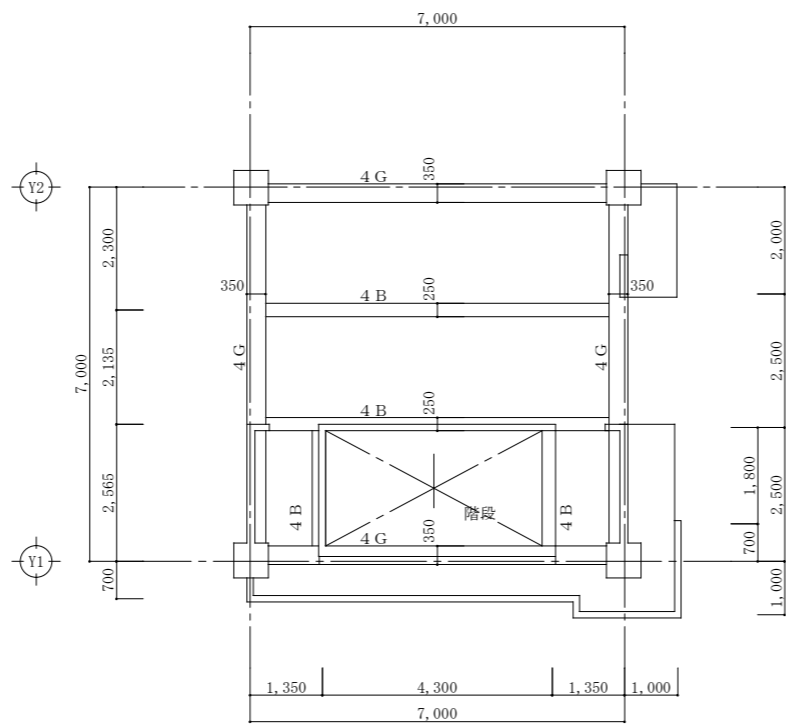
図面名称 訓練棟 詳細図

縮尺 S = 1 : 50

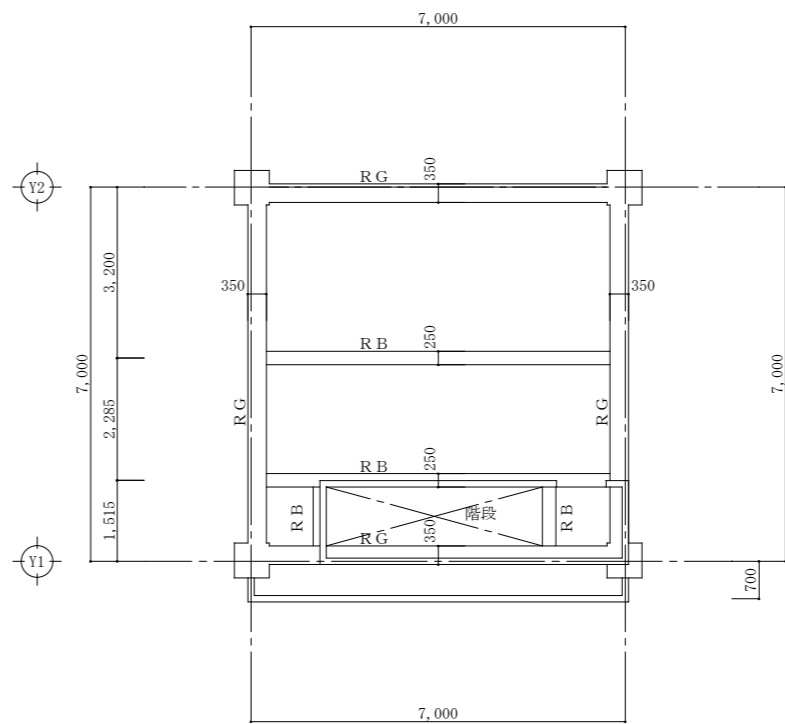
承認	検図	設計	製図	作図年月日 R1. 8. 13	図面番号 A- 8
				訂正年月日	種別



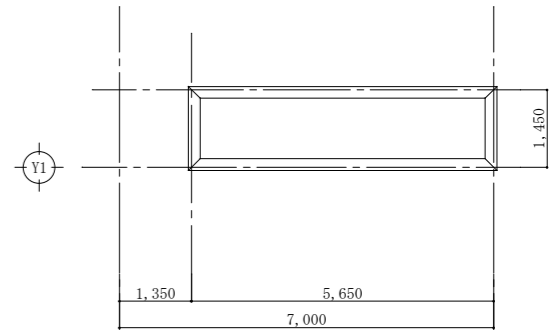
2階梁伏図 S=1:100



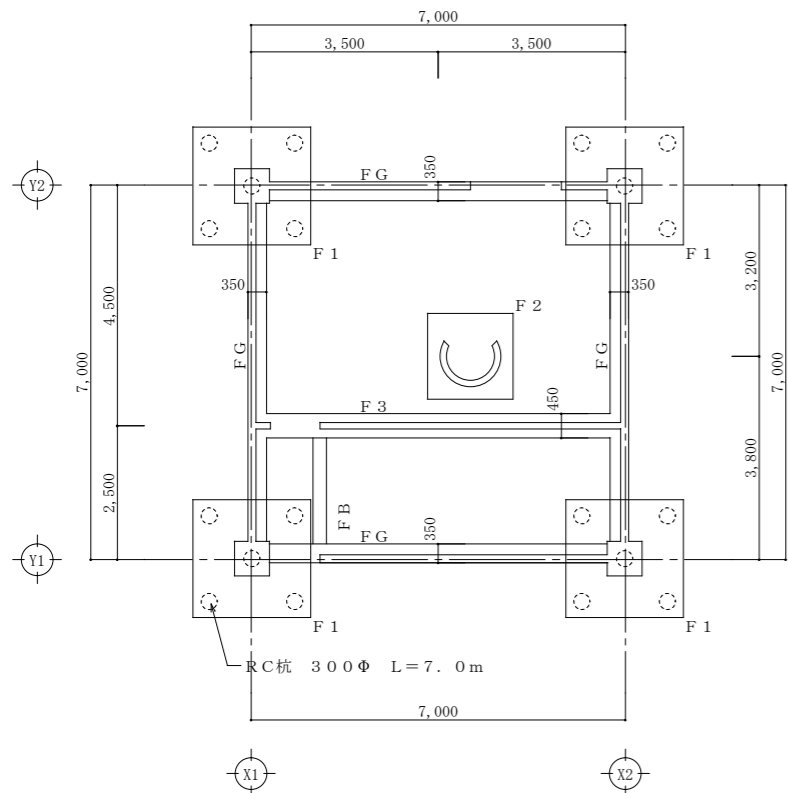
4階梁伏図 S=1:100



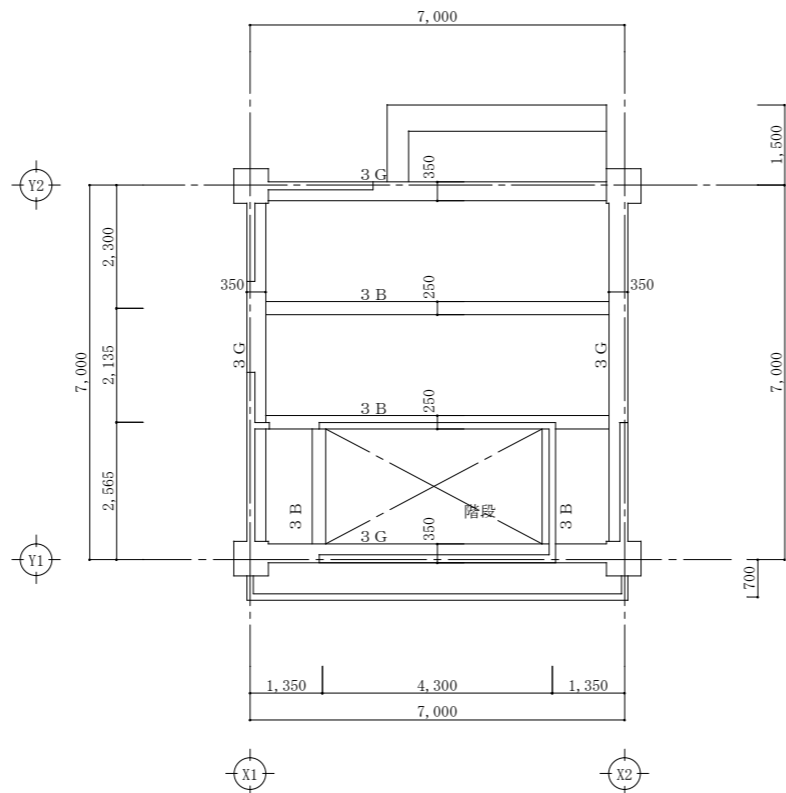
PH階梁伏図 S=1:100



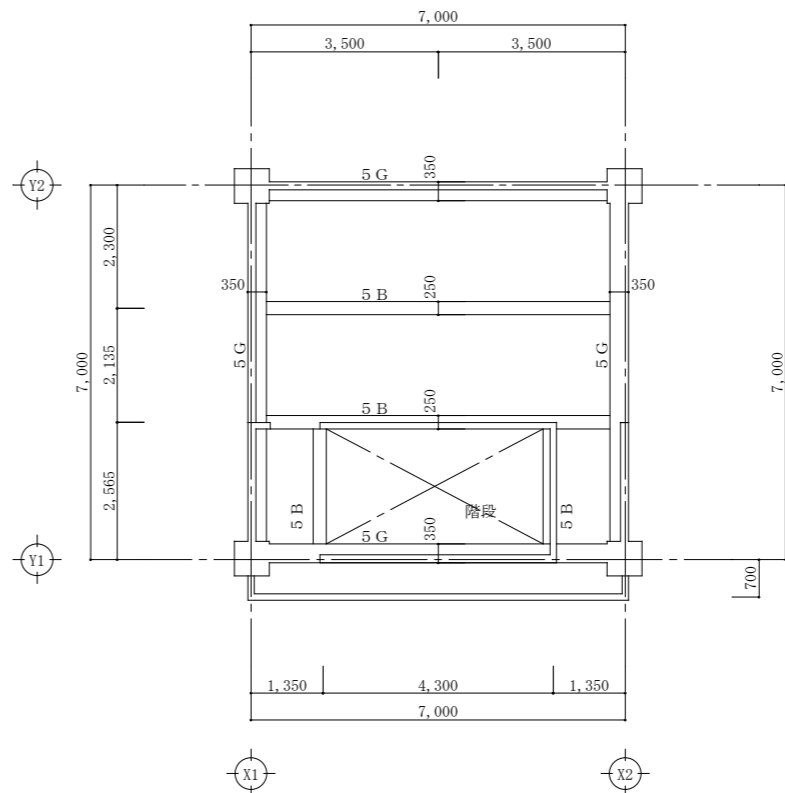
PHR階梁伏図 S=1:100



基礎伏図 S=1:100



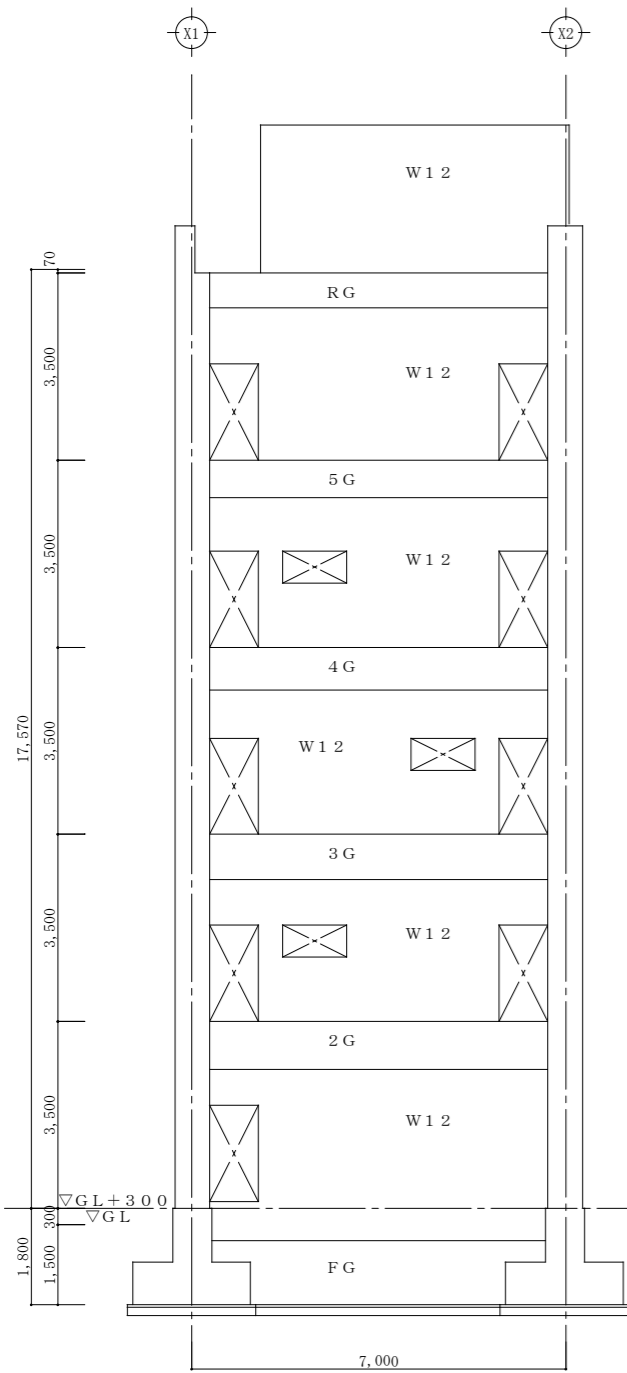
3階梁伏図 S=1:100



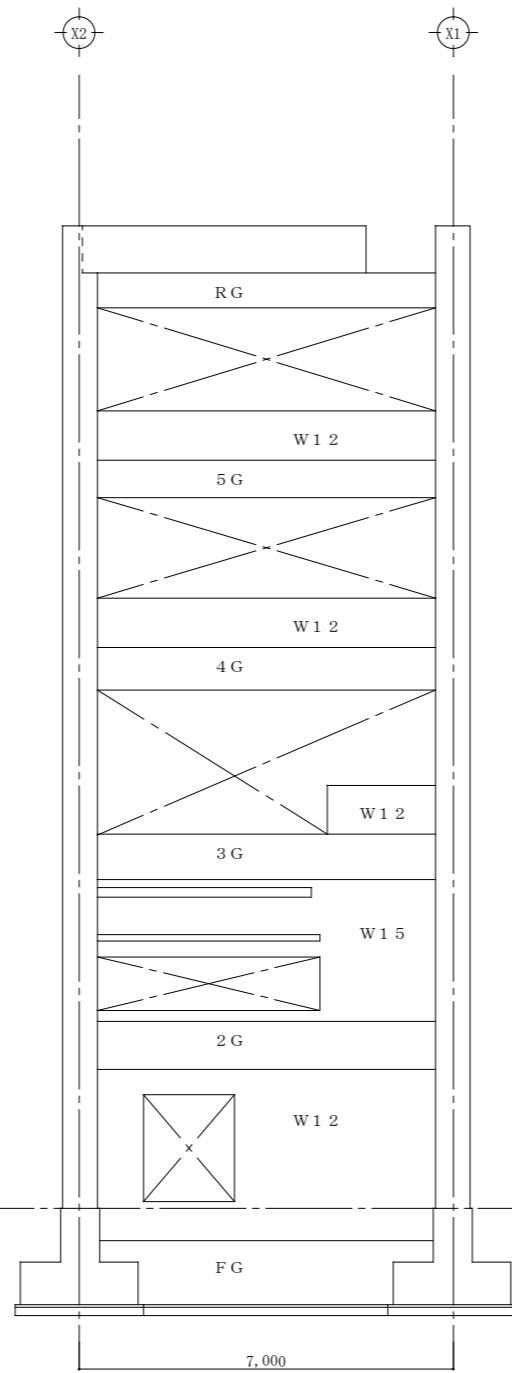
5階梁伏図 S=1:100

特記 ※ 図面に記入している物は、特記なき限り全て撤去処分とする。

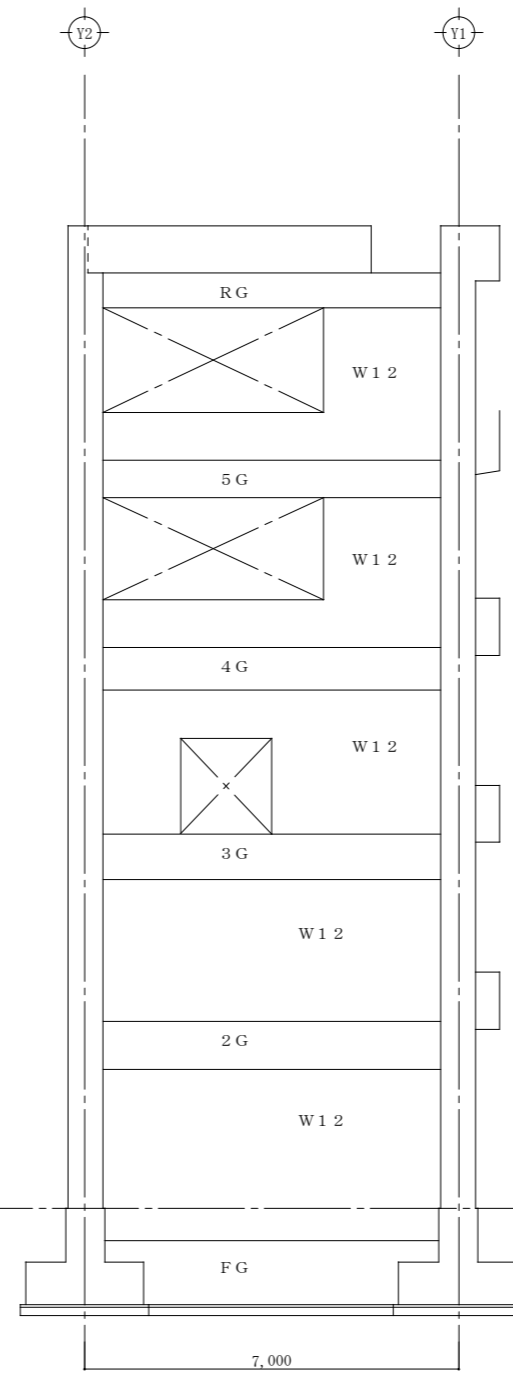
工事名称	旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
図面名称	訓練棟 基礎伏図・梁伏図					R1. 8.13	A-9
縮尺	S=1:100 (A2サイズ)					訂正年月日	種別



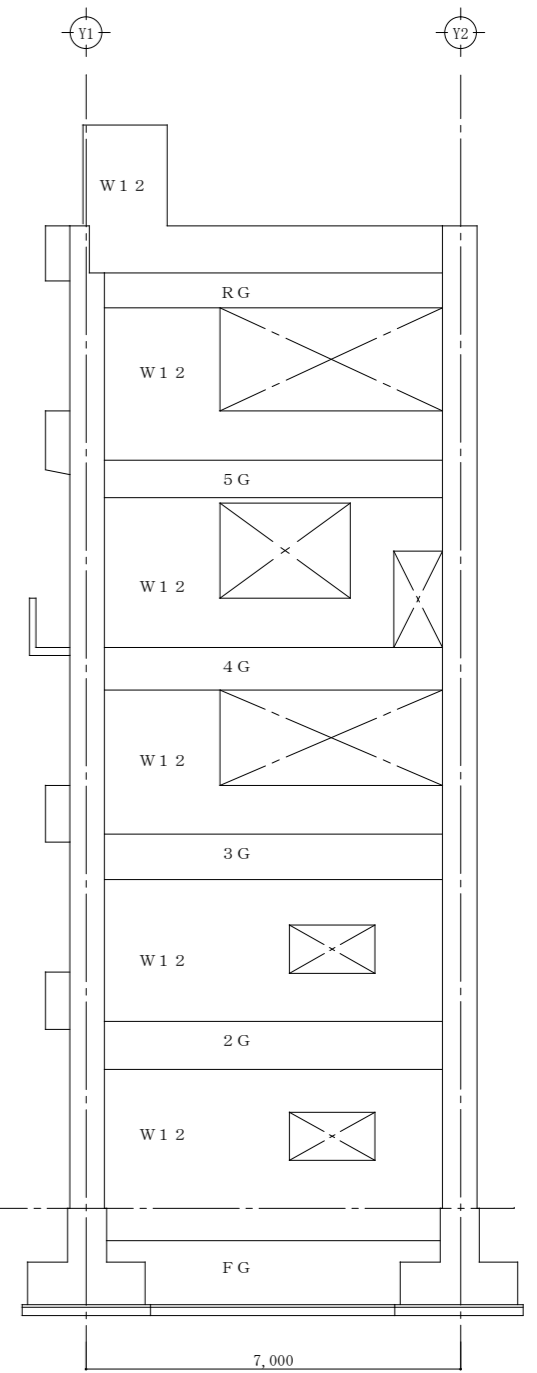
Y 1 通軸組図 S=1:100



Y 2 通軸組図 S=1:100



X 1 通軸組図 S=1:100



X 2 通軸組図 S=1:100

特記 ※ 図面に記入している物は、特記なき限り全て撤去処分とする。

工事名称 旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事

図面名称 訓練棟 軸組図

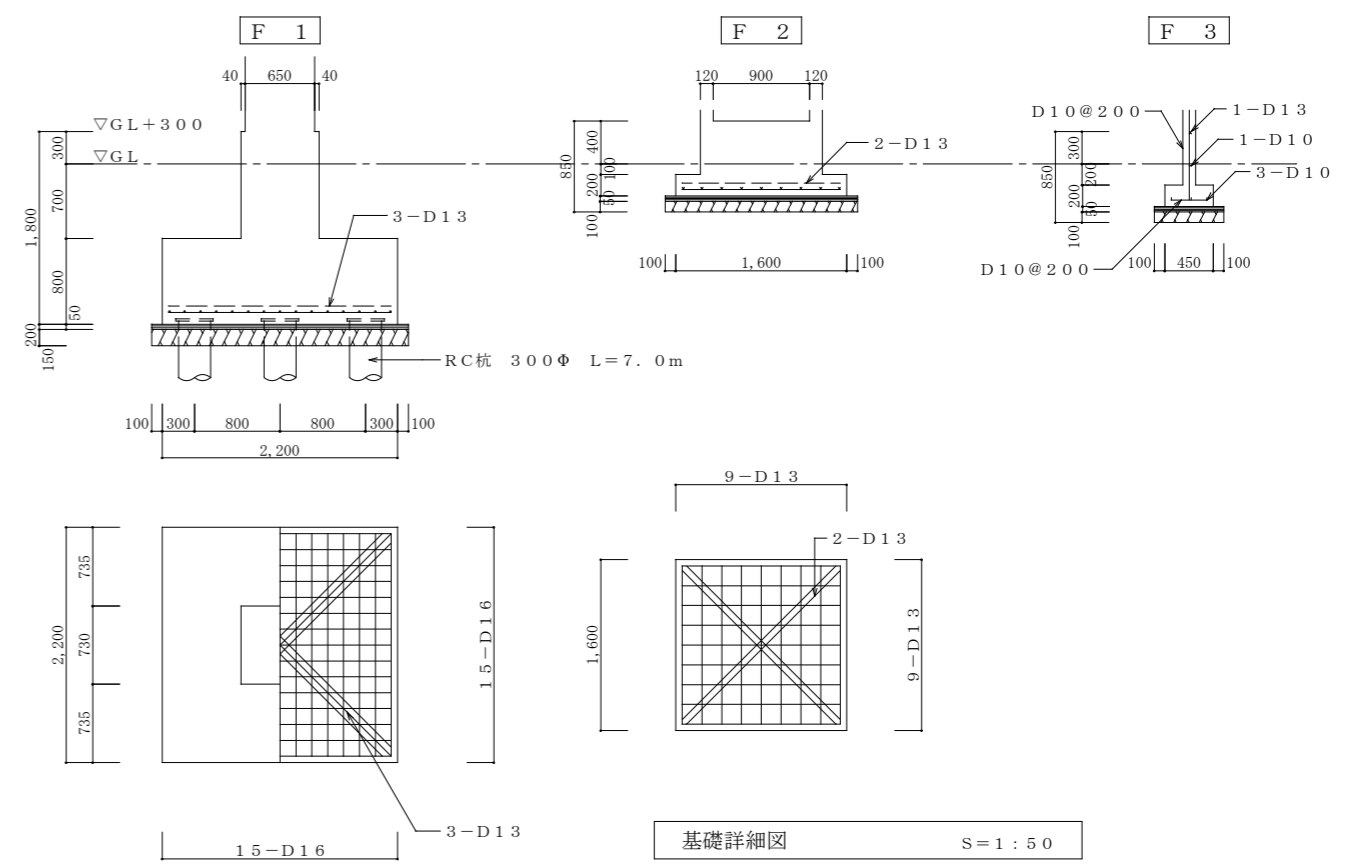
縮尺 S=1:100 (A2サイズ)

承認	検図	設計	製図	作図年月日 R1. 8.13	図面番号 A-10
				訂正年月日	種別

大梁リスト S=1:50							小梁リスト S=1:50				
符号	FG	2G	3G	4G	5G	RG	2B	3B	4B	5B	RB
端部											
B×H	350×1200	400×900	350×850	350×800	350×700	350×650	250×500	250×500	250×500	250×500	250×500
上端筋	5-D22	6-D25	6-D22	5-D22	4-D22	4-D22	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19
下端筋	5-D22	5-D25	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19
S T	D10@200	D13@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200
中央											
B×H	350×1200	400×900	350×850	350×800	350×700	350×650	250×500	250×500	250×500	250×500	250×500
上端筋	3-D22	3-D25	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19
下端筋	3-D22	3-D25	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D19	5-D19	5-D19	5-D19	5-D19
S T	D10@200	D13@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200

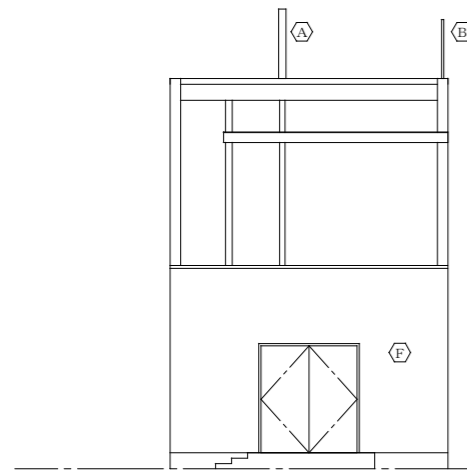
柱リスト S=1:50					
階	1階	3階	4階	5階	
姿図					
B×D	650×650	650×650	650×650	650×650	650×650
主筋	16-D22	12-D22	12-D22	12-D22	12-D22
HOOP	D10@100	D10@100	D10@100	D10@100	D10@100

特記事項 柱のD・HOOPは D10@500 とする
梁の幅止め筋は D10@400 とする

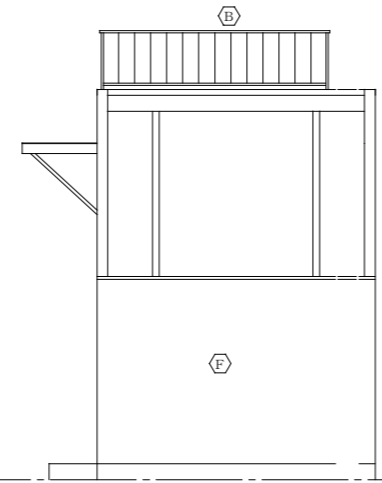


基礎詳細図 S=1:50

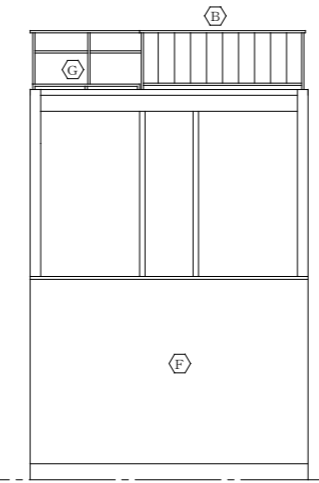
特記事項 ※ 図面に記入している物は、特記なき限り全て撤去処分とする。	工事名称	旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
	図面名称	訓練棟 基礎詳細図・部材リスト					R1. 8. 13	A-11
	縮尺	S=1:50 (A2サイズ)					訂正年月日	種別



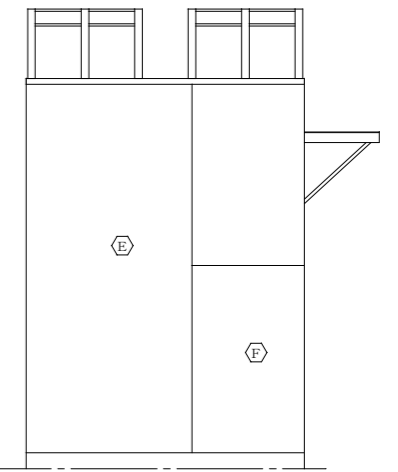
補助棟南立面図 S=1:100



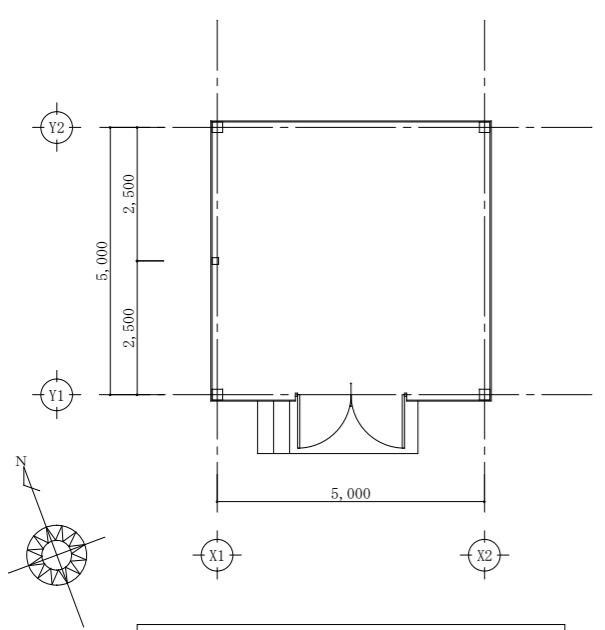
補助棟東立面図 S=1:100



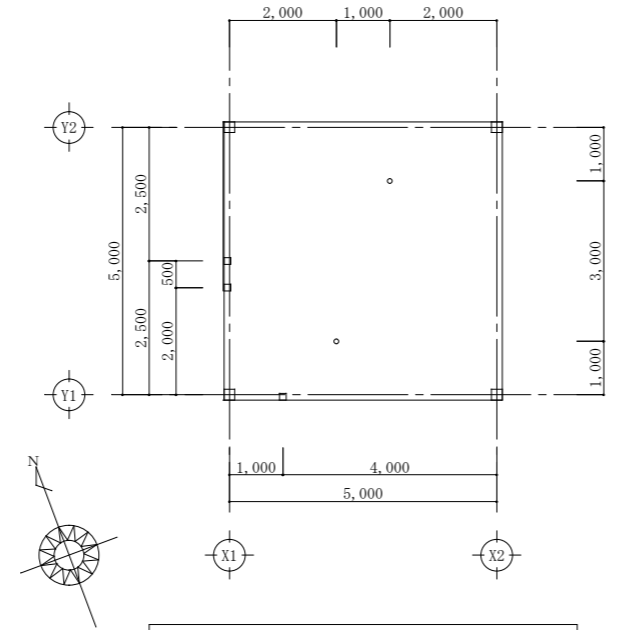
補助棟北立面図 S=1:100



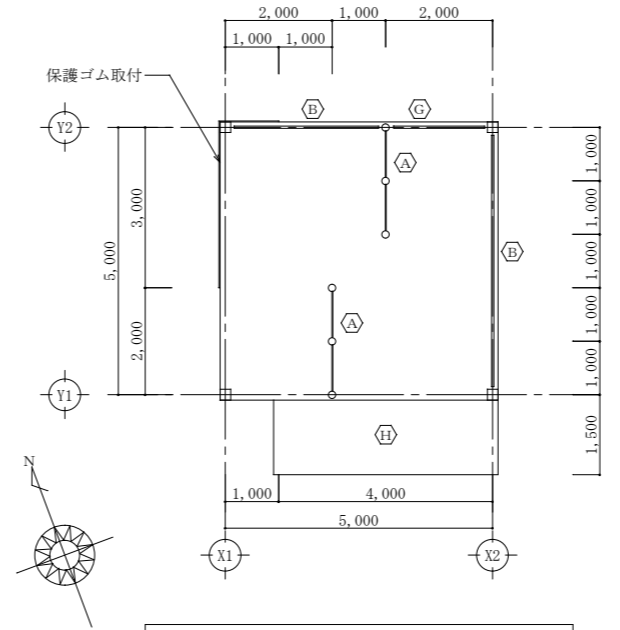
補助棟西立面図 S=1:100



補助棟1階平面図 S=1:100



補助棟2階平面図 S=1:100

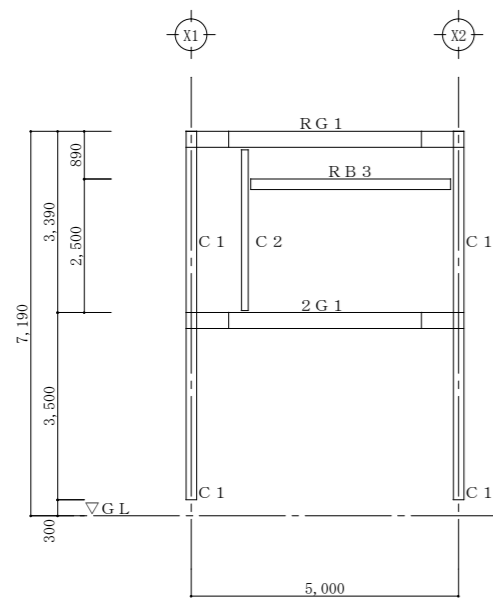


補助棟R階平面図 S=1:100

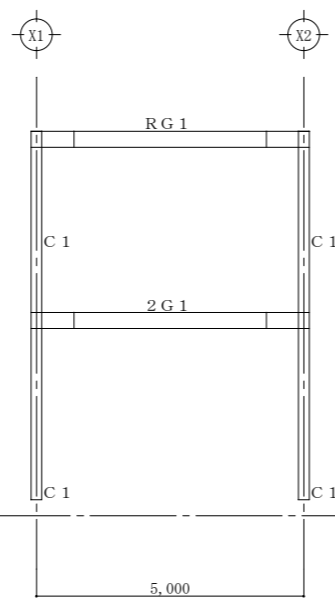
記号	名称
Ⓐ	脱出ロープ繫結支柱 H=1,300
Ⓑ	手摺 H=1,100
Ⓒ	タラップ
Ⓓ	根巻コンクリート H=500
Ⓔ	編鋼板張
Ⓕ	角波鉄板張り
Ⓖ	脱出ロープ保護パイプ
Ⓗ	訓練用足場

特記 ※ 図面に記入している物は、特記なき限り全て撤去処分とする。

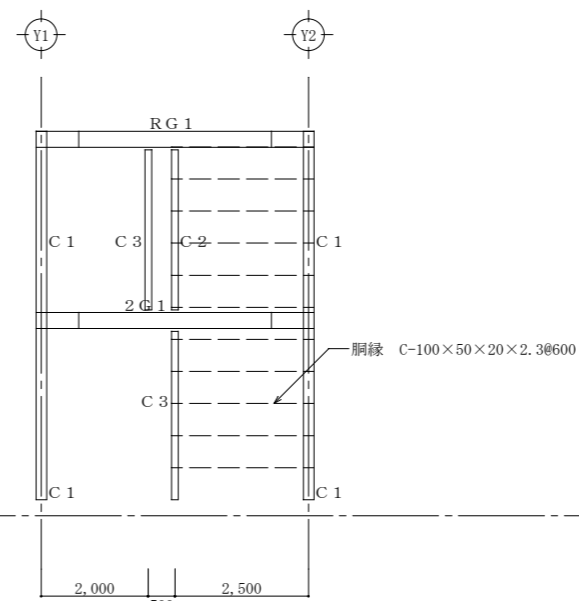
工事名称	旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事	承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
図面名称	補助棟 平面図・立面図					R1. 8.13	A-12
縮尺	S=1:100 (A2サイズ)					訂正年月日	種別



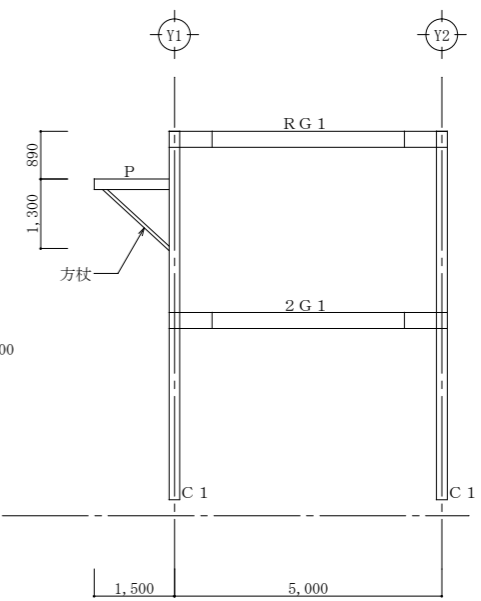
補助棟 Y 1 通軸組図 S=1:100



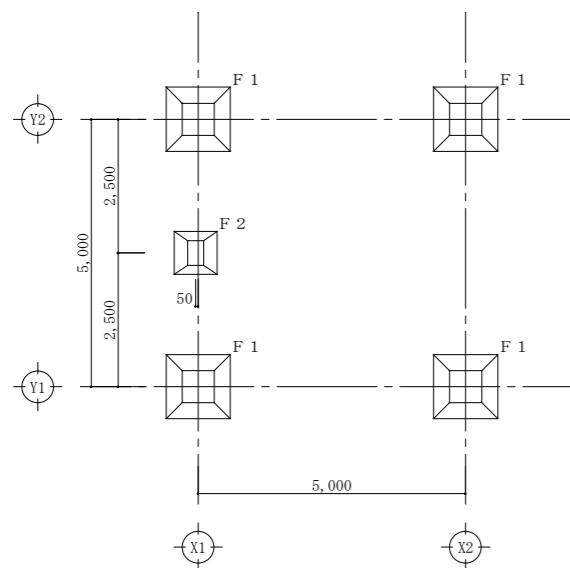
補助棟 Y 2 通軸組図 S=1:100



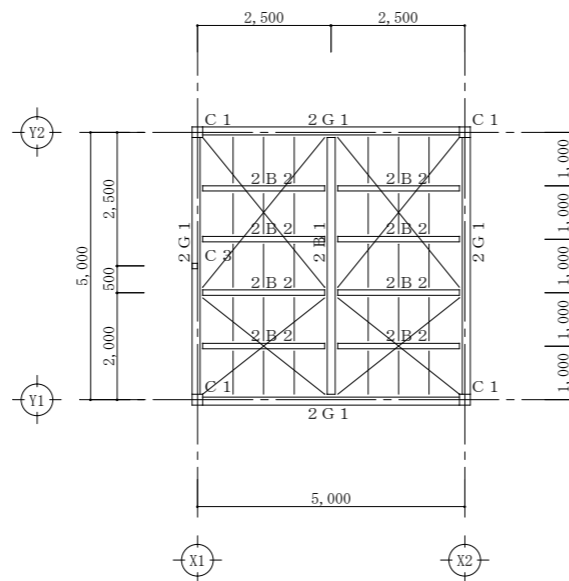
補助棟 X 1 通軸組図 S=1:100



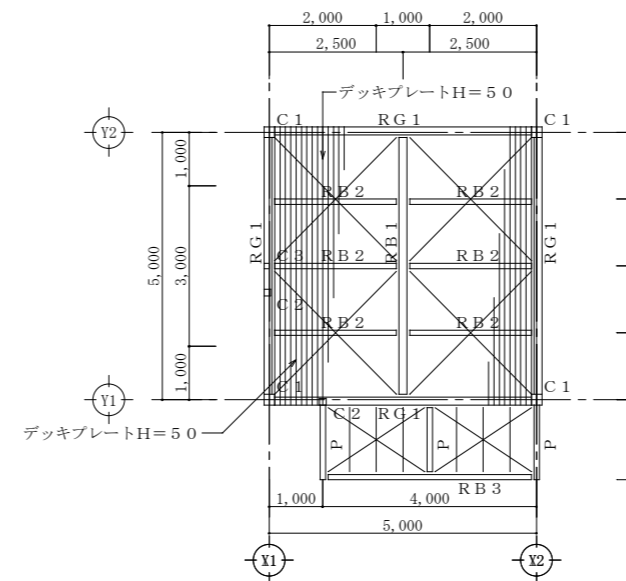
補助棟 X 2 通軸組図 S=1:100



補助棟基礎伏図 S=1:100



補助棟 2 階梁伏図 S=1:100



補助棟 R 階梁伏図 S=1:100

部材リスト	
記号	形状・寸法
C 1	□-200×200×6.0
C 2	□-125×125×4.5
C 3	□-100×100×3.2
2G 1	H-298×149×5.5×8
RG 1	H-298×149×5.5×8
2B 1	H-298×149×5.5×8
2B 2	H-200×100×5.5×8
RB 1	H-298×149×5.5×8
RB 2	H-200×100×5.5×8
RB 3	H-200×100×5.5×8
P	H-200×100×5.5×8
方杖	P-60.5Φ
b	L-90×90×7
鋼縁	C-100×50×20×2.3
ブレース	16Φ

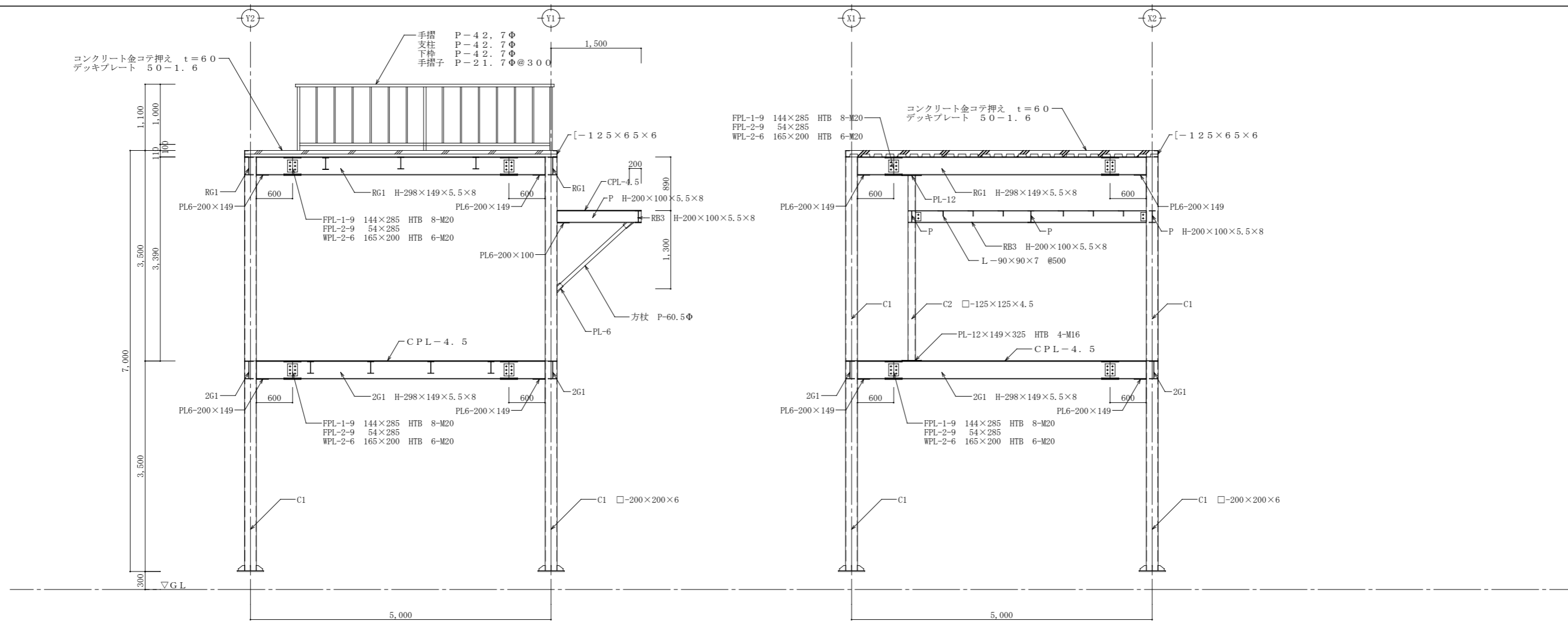
特記 ※ 図面に記入している物は、特記なき限り全て撤去処分とする。

工事名称 旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事

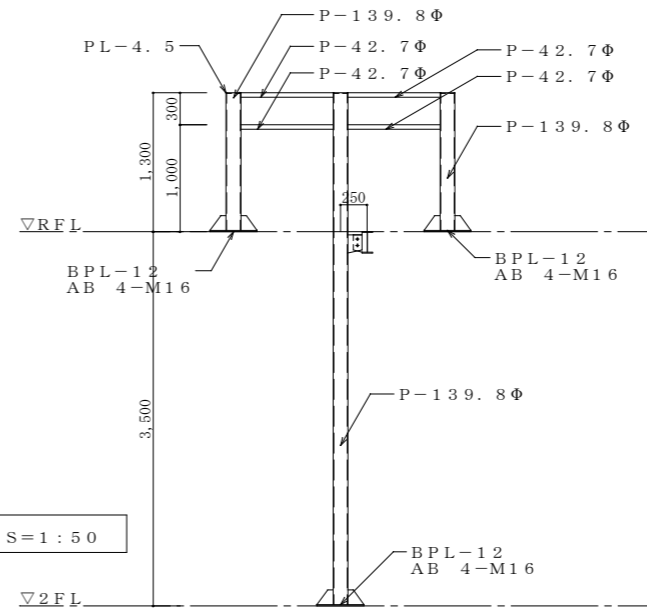
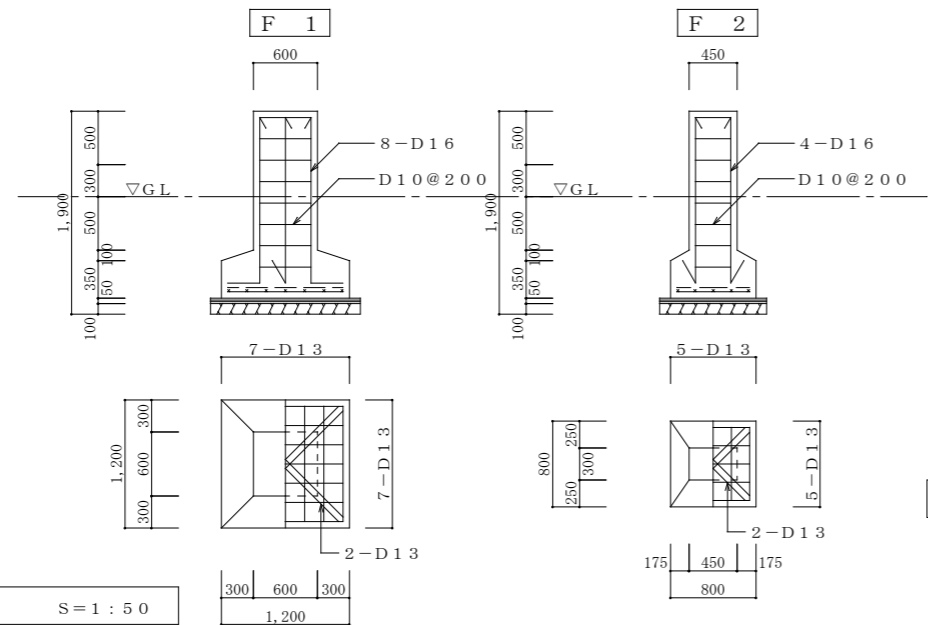
図面名称 補助棟 基礎伏図・梁伏図・軸組図・部材リスト

縮尺 S=1:100 (A2サイズ)

承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
				R1. 8. 13	A-13
				訂正年月日	種別



X 2 通鉄骨詳細図 S=1:50



特記 ※ 図面に記入している物は、特記なき限り全て撤去処分とする。

工事名称 旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事

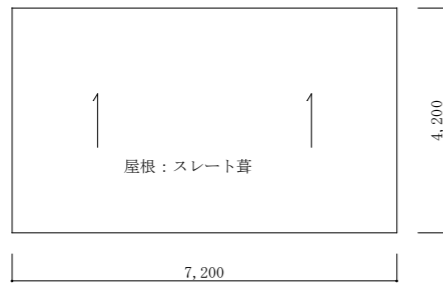
図面名称 補助棟 基礎詳細図・鉄骨詳細図・その他

縮尺 S=1:50 (A2サイズ)

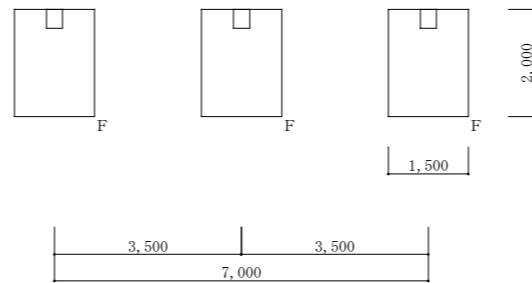
承認 検図 設計 製図

作図年月日 R1. 8. 13 図面番号 A-14

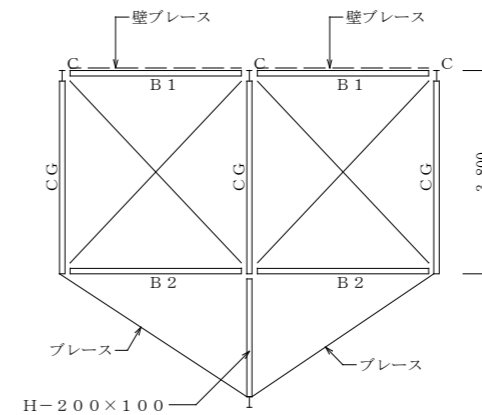
訂正年月日 種別



自家給油所 屋根伏図 S=1:100

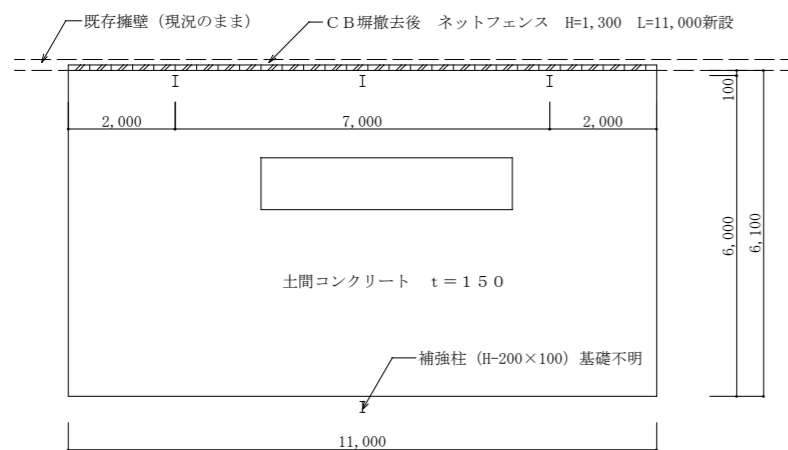


自家給油所 基礎伏図 S=1:100

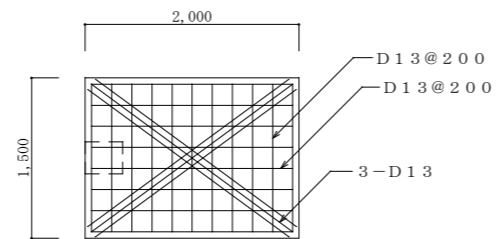


自家給油所 柱・梁伏図 S=1:100

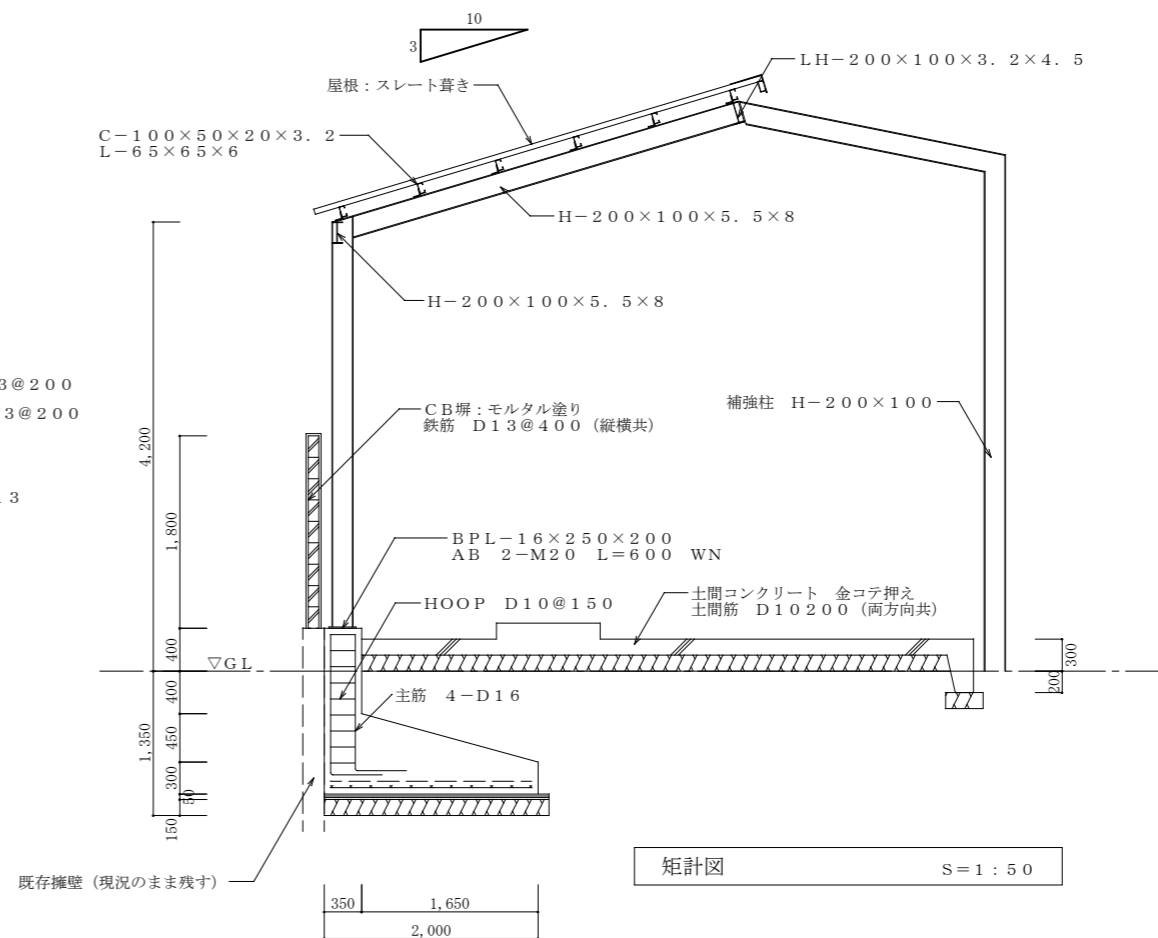
部材リスト	
記号	形状・寸法
C	H-200×100×5.5×8
CG	H-200×100×5.5×8
B1	H-200×100×5.5×8
B2	LH-200×100×3.2×4.5
ブレース	13Φ



自家給油所 平面図 S=1:100



基礎詳細図 S=1:50



矩計図 S=1:50

特記 ※ 図面に記入している物は、特記なき限り全て撤去処分とする。

工事名称 旧消防庁舎訓練棟ほか解体工事

図面名称 自家給油所 意匠図・構造図

縮尺 S=1:100、50 (A2サイズ)

承認	検図	設計	製図	作図年月日	図面番号
				R1. 8.13	A-15
				訂正年月日	種別